

2017（平成 29）年度 福岡女子大学 外国人留学生入試

〔 A 日程試験問題 〕

環境科学科

小論文

【 60 分 】

注意事項

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- 2 問題は 4 ページから 5 ページにあります。問題は全部で **1 題**です。
- 3 解答用紙には裏に英語用の解答欄があります。
- 4 試験中に問題用紙の印刷不鮮明，ページの落丁・乱丁および解答用紙の汚れ等に気づいた場合は，手を挙げて監督者に知らせてください。
- 5 試験開始と同時に解答用紙の**受験番号欄に受験番号**を記入してください。
- 6 試験終了後，**問題冊子は持ち帰ってください**。

問題

世界の発電電力量は一貫して増加し、2012年時点で22.7兆kWhであった。図1に主要国の発電電力量を示している。中国が最も多く4.98兆kWh、次いで米国の4.27兆kWhであり、この2か国で世界の約40%を占めている。2012年の各国の電源別発電電力量（図2）を見ると、フランス、日本以外の国々では石炭火力発電の割合が高い。特に、中国は石炭火力の割合が約76%と過半を占めている。

図1、2を見て、以下の問いに答えよ。

問1

中国、米国で発電電力量が多い理由として、あなたが考えることを述べなさい。
(100字または50 words 以内)

問2

多くの国で発電に占める石炭火力の割合が高い理由として、何が考えられるか。
(100字または50 words 以内)

問3

発電に占める石炭火力の割合が高いことによる、環境に及ぼす悪影響として考えられる事項を述べなさい。(200字または100 words 以内)

問4

発電に占める石炭火力の割合を低下（減少）させるためには、どのような方策が考えられるか。(200字または100 words 以内)

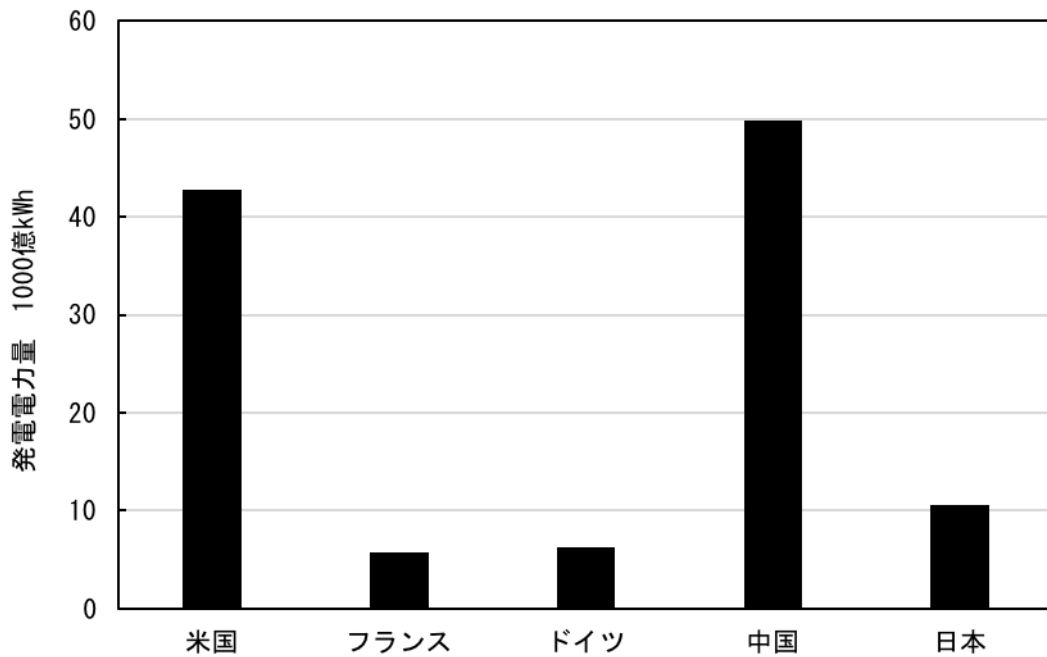


図1 主要国の発電電力量（2012年）

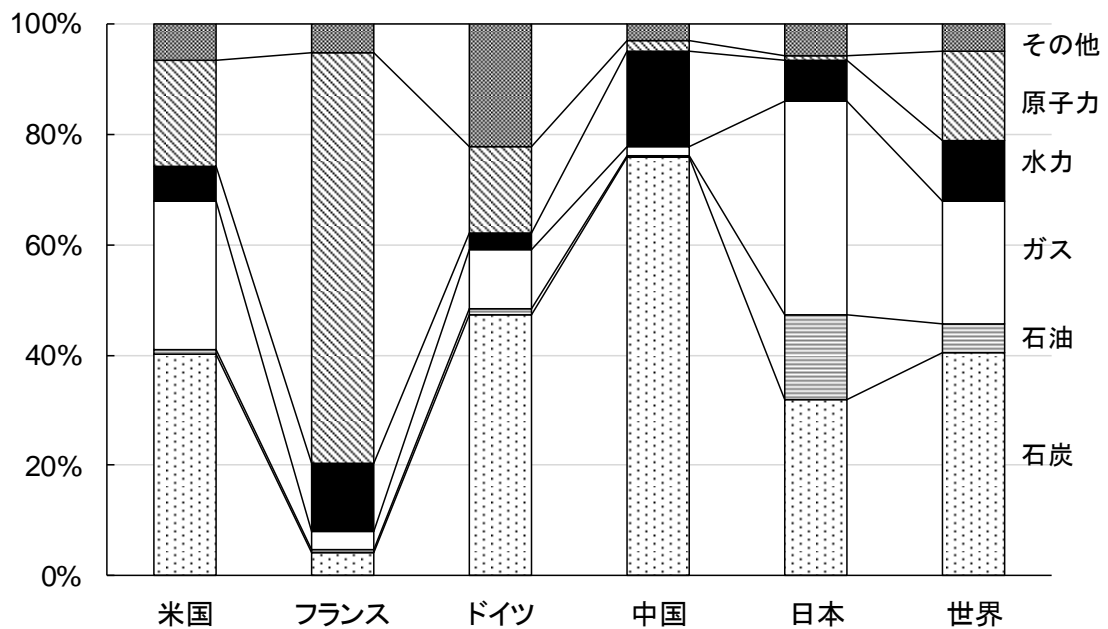


図2 世界および主要国の発電電力量に占める各電源の割合（2012年）

出典： 図1， 図2ともエネルギー白書 2015年（資源エネルギー庁）のデータを使用して作成